

自己評価結果（令和４年度）

川辺町第１こども園

評価項目	評価内訳（割合）		
	できている	少しできている	できていない
第1章 総則 教育・保育の基本	77.0%	7.0%	16.0%
1. 教育・保育の基本	75.9%	0.9%	23.2%
2. 教育及び保育の配慮	80.4%	3.6%	16.1%
3. 教育課程・全体的な計画、指導計画作成と評価	82.9%	6.8%	10.4%
4. 特別支援教育・障がい児保育	59.7%	18.1%	22.2%
5. 「育みたい3つの資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」	30.9%	16.4%	52.7%
6. こどもの発達	93.8%	5.4%	0.9%
第2章 「ねらい」及び「内容」	88.0%	4.2%	7.8%
1. 乳児保育に関わるねらい及び内容	88.1%	6.2%	5.7%
2. 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容	91.8%	4.3%	4.0%
3. 保育の実施に関わる配慮事項（乳児・1歳以上3歳未満児）	80.0%	4.3%	15.7%
4. 3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容	86.9%	3.6%	9.5%
第3章 健康及び安全	71.2%	7.1%	21.7%
1. 健康支援	73.2%	8.0%	18.8%
2. 食育	96.6%	2.3%	1.1%
3. 環境・衛生管理、安全管理	73.9%	9.1%	17.0%
4. 災害への備え	45.2%	8.7%	46.2%
第4章 子育て支援	64.6%	9.0%	26.4%
1. 園児の保護者に対する子育て支援	85.0%	5.0%	10.0%
2. 地域における子育て支援	39.1%	14.1%	46.9%
第5章 職員の資質向上	75.0%	11.7%	13.3%
合計	81.2%	5.9%	13.0%

達成状況	できていること	できるとよかったこと
第1章 総則 教育・保育の基本	・感染症に対する危機感もあり、こどもの健康状態の観察は常時行っている。 ・こどもの気持ちを優先した関わりができるよう努めている。 ・一人ひとりの発達を理解したうえで適切な援助が行えるよう努めている。	・コロナ禍でこどもたちの興味や関心に合わせた保育環境を十分に用意することが難しかった。

第2章 「ねらい」及び「内容」	・ともだちの良さに気づき一緒に活動する楽しさを味わうことができるよう心がけた。 ・健康への関心を高め、病気を予防する行動が身に付くよう働きかけることができた。	・昨年度と同様、地域の資源（ひと、もの、こと）を取り入れた活動が数多くできなかった。
第3章 健康及び安全	・感染症に関する情報提供は細かく速やかに発信できるよう心がけた。 ・室内の温度や湿度、換気は定期的に確認、対応することができた。	・「黙食」が示されていたが、こどもたちが楽しく食べることができるよう工夫すればよかった。 ・様々な災害を想定した訓練ができるとよかった。
第4章 子育て支援	・園での活動の様子を連絡帳や口頭などでわかりやすく伝えることができた。	・地域の家庭を対象とした相談やあそび場の提供など、子育て支援のための取り組みができなかった。
第5章 職員の資質向上	・園外の研修会などに参加する機会は少なかったが、ネットを見たりや専門書を読んだりするなど資質向上に努めた。	・行事や活動のねらいを共通理解することが足りなかったと感じる。

＜来年度取り組むべき課題及び提案＞		
・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症に関する対応が大きく変化する。また、世の中は環境の変化が速く、先の見えない時代でもある。こうした中、こども園の行事や活動、取り組みなどについて、こどもたちの姿を見ながら、それぞれの「ねらい」「目的」「意義」などを踏まえ、「やり続ける」「やめる」「かえる」の視点で考えていく。 ・「こどもの気持ちになって考えてみよう」を継続しながら、「誰もが」「いつでも」「何度でも」挑戦できる環境を用意し、うまくいかなくてもみんなで支えていける組織になるよう更に努力していく。		